

2021年度 第7回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 選考報告

選考委員長 櫻井 一弥

1. 応募講演

6講演

2. 選考経過

2-1 建築デザイン発表会

2021年6月19日(土) 11:00~12:06

於: Zoomによるオンライン発表

今回は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、みちのくの風2021がオンライン開催となったことに伴い、建築デザイン発表会もZoomを用いたオンライン開催となった。

応募6講演について、Zoomの画面共有機能を用いた発表が行われた。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介されるとともに、活発な質疑回答が行われた。発表会は滞りなく進められた。時間厳守にご協力いただいた発表者各位、聴講者各位に感謝申し上げたい。

2-2 選考委員会

2021年6月19日(土) 12:10~12:40

於: Zoomによるオンライン発表

発表全体を聴講した建築デザイン教育部会の部会員9名(下記参照)で、建築デザイン発表賞にふさわしい講演を選出することとした。

内規に従い、計6件の講演より1つの講演を選出することを確認し、部会員相互で協議した。様々なタイプのプロジェクトがある中で、どのように賞を選出するか、議論が難しかったが、最終的にはそれぞれのプロジェクトを多角的な視点から評価し、議論を通して決定することとした。

その際、内規に記載の通り、建築デザイン発表会を欠席する部会員には事前に講演梗概を開示し、賞にふさわしい候補を挙げてもらうこととしていたが、欠席の部会員からは特に候補が挙がらなかったため、選考委員会に出席の部会員の意見で決定した。

結果、次節に示す講演に第7回建築デザイン発表賞を授与することとした。

選考委員長: 櫻井 一弥 (建築デザイン教育部会長、東北学院大学)

選考委員: 小地沢将之 (建築デザイン教育部会幹事、宮城大学)

浦部 智義 (日本大学)

須田 眞史 (宮城学院女子大学)

増田 豊文 (東北文化学園大学)

大沼 正寛 (東北工業大学)

西澤 高男 (東北芸術工科大学)

馬渡 龍 (八戸工業高等専門学校)

濱 定史 (山形大学)

3. 選考結果

第7回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 1点

「鮭川村 空き家活用定住促進住宅
～地域と大学との連携によるリノベーションプロジェクト～」(E-4)
西澤 高男 (東北芸術工科大学)

4. 講評

「鮭川村 空き家活用定住促進住宅
～地域と大学との連携によるリノベーションプロジェクト～」

山形県鮭川村が、山形県建築住宅課、山形県住宅供給公社、東北芸術工科大学と協働で、村内の空き家を定住促進住宅にリノベーションしたプロジェクトである。

調査・絞り込みの上で村が買い上げた村内の空き家に対して、定住促進住宅にリノベーションするための2つの改修案を作成し、鮭川村空き家等対策協議会の方々にコンペ形式で実施案を選定してもらっている。併せて移住希望者等からの要望をヒアリングして改修設計に活かしている。最終的に1階に広い土間を置く開放的なプランを具現化した。また、一部の断熱工事を学生たちや地域住民によるDIYワークショップで施工するなど、地域を巻き込んだアクティビティが展開されている。

選考委員会では、本講演は審査員全員から高く評価された。市街地ではない場所における空き家対策という現代的な課題に対して、地道な事業展開を図り、実際にリノベーションして新たな借り手が見つかるまでをうまく導いている。できあがった空間の秀逸さもさることながら、一連の事業としてのプロセス・デザインは模範的ですし、今後各地で参照できるモデルとなる可能性を秘めている。そうした部分が総合的に評価され、今回の賞に選出された。

以上